



## 防災学習プログラム

東日本大震災から今年で15年となりました。震災を経験していない小学生にも防災意識をもってもらおうと、こども教室にて防災学習プログラムを実施しました。榑葉町消防団第8分団の皆さんや、榑葉町のくらし安全対策課の職員の方にご協力いただき、3月2日(月)に防災食作り、3月3日(火)には防災パネル作りを行いました。

### 防災食作り

今回はカセットコンロやアルファ米、ポリ袋などの備蓄品を使用し、オムライス、コーンスープ、おいもモンブランを作りました。

湯煎のみで食材に火を通したり、袋の中で調味料を合わせて味付けしたり、少ない調理器具で簡単に作ることができます！

子どもたちも班で協力し、楽しく作ることができました。

早速、お家で作ってみたいという子もいました！



たくさん  
おかわり  
しました！

### 防災パネル作り

震災の様子、当時の学校の様子、避難先の様子、帰町当時の様子、震災後の榑葉町について、5班に分かれてパネル製作をしました。

早川教育長や、当時を知る大人からお話を聞き、当時の写真を見たりして学んだことをパネルに書き込んでいきました。写真を見て質問している子や真剣にお話を聞く姿に、大人たちも改めて震災や防災について考え直す機会となりました。



ならはみらいの方々と活動をしている“Creema”所属の  
クリエイターの皆さんに来ていただきました！

# 革やフェルトで工作体験

## 革のしおり作り



2月2日（火）、革を使ったクリエイター活動をしている  
“yoki” さんに来ていただき、しおり作りをしました。

初めに、これは何の革でしょう？クイズをしました。子どもたちは、革を触ったり匂いを嗅いだりしましたが、全問正解はならず、なんとクマやシカ、ワニやカンガルーのしっぽ、魚の革など合計9種類もありました！

そして今回は、牛の革を使用して、自分の好きな形のしおりを作りました。専用のハサミを使って好きな形にカットし、ペンで模様を書いていきます。なかには、友達や家族の分、講師のyokiさんの分を作っている子もいました。余った革でコースターやキーホルダーを作る子もおり、みんな思いおもいの作品を作っていました。

## フェルトでキーホルダー作り

2月9日（火）には、フェルトで作品作りをしている“あかころ”さん達に、キーホルダー作りを教えてくださいました。

キーホルダーの土台となるフェルト生地を選び、まずは、フェルト工作の基礎を教えてくださいました。フェルトパンチャーという安全で使いやすい専用ニードルを使い、クマやパンダをイメージして丸く成形していきます。きれいな丸を作るのはとても難しく、だいぶ苦戦している様子でした。そのほか、虹色のフェルトで自由に製作している子もいました。

個性にあふれた世界にたった一つの作品作りができ、子どもたちも大喜びでした！



【お問合せ先】 檜葉町地域学校協働センター（檜葉小学校 1 階）

渡邊・渡部

TEL：（直通）070 - 7421 - 5156 （こども課）0240 - 23 - 5515

MAIL：kyoudou-n@town.naraha.lg.jp